

がんばろう!高槻♪

和Jazz

蓑輪裕之、「和」を奏でる

ベースと義太夫、常盤津との競演



〈出演者〉

蓑輪裕之SUPER TRIO

蓑輪裕之 (ベース)

高岡正人 (ピアノ)

斉藤洋平 (ドラム)

豊竹芳穂太夫 (文楽太夫・浄瑠璃語り)

常盤津美佐希 (常盤津)

〈演奏予定楽曲〉 義太夫「心中天網島」/常盤津「乗合船」/ジャズ「ジャズのず」

2018年

10月29日[月]18:00開演(17:30開場) 前売¥2,000/当日¥2,500(全自由席)

高槻市立生涯学習センター(高槻市総合センター2階)

主催：和Jazz公演実行委員会

協力：高槻ジャズストリート実行委員会

後援：高槻市、高槻市教育委員会、公益財団法人高槻市文化振興事業団、公益社団法人高槻市観光協会
関西伝統芸能女流振興会

チケット発売所 高槻ジャズストリート実行委員会(JKカフェ内) 072-662-7222
高槻現代劇場(10:00~17:00) 072-671-9999
高槻市観光案内所(JR高槻駅) 072-686-0711

2日間で10万人を動員する高槻ジャズストリートなどに象徴されるように、ジャズはすっかり日本の文化、芸能芸術に浸透しています。ビッグバンド、モダンジャズ、フュージョンなどさまざまなスタイルで演奏され、ますますフィールドが広がっているなか、この公演は義太夫、常磐津という「和」の世界とセッションすることで、さらなる可能性を探ろうとする実験的な試みです。ジャズ、古典芸能のファンはもちろんのこと、新しい音楽文化を望む人たちにも訴えかける催しを目指します。



略歴

◆ 蓑輪裕之 (みのわ ひろゆき)

大阪府高槻生まれ、高校在学中からライブハウスで、ジャズベーシストとして活動。名古屋芸術大学卒業後にドイツ留学、シュトゥットガルト音楽大学マスターコース、国立ロベルトシューマン音楽大学マスターコースで、モダンコントラバス奏法を学ぶ。1980年にジュピター音楽院を設立し、ジャズ・ベースやジャズ理論の講義を担当。「蓑輪裕之トリオ」ベーシストとして活動。北アメリカ、南アメリカ、ニュージーランド、オーストラリアなどの海外公演にも意欲的な活動を続け、特にブリスベン国際ジャズフェスティバルでの演奏は現地メディアで高く評価された。

1999年から始まった「高槻ジャズストリート」を立案、現在は代表をつとめている。

◆ 豊竹芳穂太夫 (とよたけ よしほだゆう)

2000年、日本芸術文化振興会の第16期歌舞伎俳優研究生となる。2002年3月に修了、研修生の期間中に文楽に興味を持ち文楽の太夫を志す。2003年2月八代目豊竹嶋太夫に入門。5月に技芸員試験に合格、芳穂太夫を名乗り、9月に国立劇場「義経千本桜 仙同御所の段」で初舞台。2010年、2012年、2015年に文楽協会賞、2011年、2018年に国立劇場文楽賞奨励賞を受賞。2018年に大阪文化祭奨励賞を受賞。

◆ 常磐津美佐希 (ときわづ みさき)

大阪府出身。2歳より常磐津に入門。3歳より日本舞踊、6歳よりお囃子、長唄を始める。9歳で松尾塾子供歌舞伎に入塾し15歳で卒塾。卒塾後、元市川少女歌舞伎市川梅香に師事。21歳より松尾塾子供歌舞伎松尾昌出子塾長の助手を勤める。2017年に十七世常磐津文字太夫に常磐津美佐希の名を許される。(一社)関西伝統芸能女流振興会代表理事・向平美希。

題字・豊竹芳穂太夫

プロデュース・高谷恭仁子